

キャリア・パスポート（例示資料）

小 学 校

（指導者用）

いちねんせいの みなさんへ

いよいよ がっこうでのせいかつが はじまりました。

がっこうでは ともだちといっしょに なかよくべんきょうしたり うんどうしたりします。だれとでもなかよく ちからをあわせてがんばることができるように せんせいたちも おうえんしていきます。

このぱすぽーとは みなさんのせいちょうを きろくするためのものです。せんせいたちも このぱすぽーとをみながら みなさんのせいちょうを みまもっていきます。

地域や学校の願いを反映させた、温かなメッセージを贈りましょう。

きやりあ・ぱすぽーとに みなさんのせいちょうを きろくしていきます！

にゅうがくしき

1がっきのおわり
きろく すたーと

あたらしい
がっきのはじまり

うんどうかいや
がくしゅうはっぴようかい

1ねんかんの
ふりかえり

げんきな
2ねんせいに

しょうがっこうせいかつで がんばってほしいこと

○ ともだちと なかよくしましょう

べんきょうやうんどう なんでもなかよく がんばろう

○ はじめてのことに ちゃれんじしましょう

さいしょはしんぱいだけど ゆうきをもってちょうせんしよう

○ わからないことは しつもんしましょう

みんながたすけてくれます どんどんしつもんしよう

○ すすんで べんきょうやおてつがひをがんばりましょう

がっこうはもちろん いえでもべんきょうしよう

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に関わる内容で例示しています。学校の教育目標等に応じて、設定してください。

〇〇しょうがっこうのいちねんせいのみなさんへ

地域や学校の実態に応じてメッセージを加えてください。各発達段階における成長について、学校が期待していることを書きましょう。

3・4年生の みなさんへ

小学校生活にもなれ、友達と勉強や運動にがんばっていることと思います。

1、2年生のお兄さん、お姉さんとして、お手本となることもたくさんあるでしょう。中学年になっても、だれとでも仲良く、協力して楽しく生活できるように、先生たちはおうえんしていきます。

このパスポートに、一年の目標やふり返りを記入することで、みなさんに自分の成長を感じ取ってほしいと願っています。先生たちも このパスポートを見ながら、みなさんの成長を見守っていきます。

地域や学校の願いを反映させた、温かなメッセージを贈りましょう。

キャリア・パスポートにみなさんの成長を記録していきます！

進級おめでとう

年度はじめに
目標を決める

運動会

学習発表会

学期ごとなどに
ふり返る

新しい学年に！

小学校生活でがんばってほしいこと

小学校生活で身に付けてほしい力を、4つにまとめました。さんこうにしてください。

○ 自分の気持ちを、友だちにわかりやすく伝えること	○ しらべたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで先生にしつもんしたり、本でしらべたりすること
○ クラスや友だちのために、進んで行どうしたり、協力したりすること	○ しょうらいのゆめや目ひょうに向かってがんばったり、べんきょうのやり方をくふう

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に関わる内容で例示しています。学校の教育目標等に応じて、設定してください。

〇〇小学校の3・4年生のみなさんへ

地域や学校の実態に応じてメッセージを加えてください。各発達段階における成長について、学校が期待していることを書きましょう。

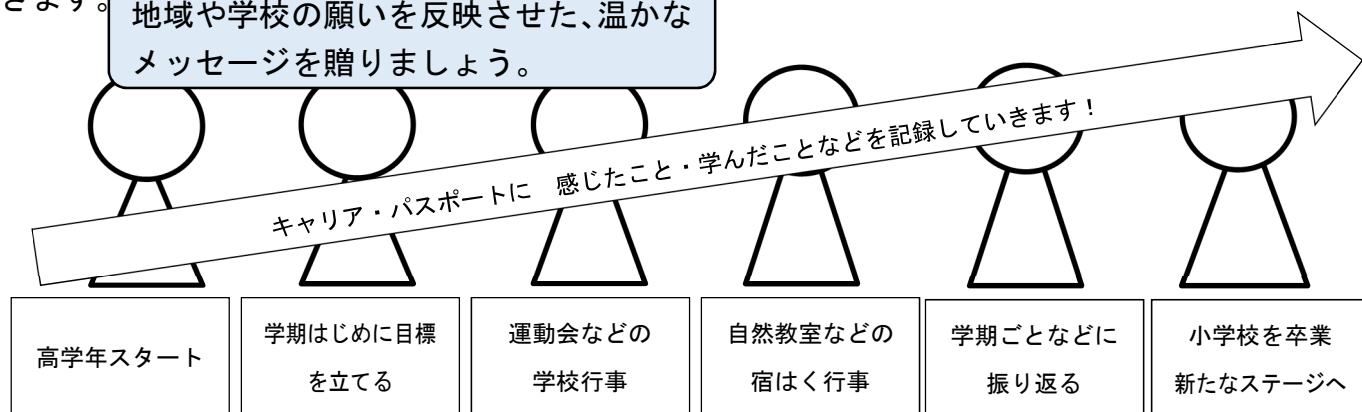
5・6年生の みなさんへ

いよいよ高学年の仲間入りですね。みなさんがこれから高学年として学校で経験していくことは、将来、社会の中で役立つことばかりです。自分の可能性をのばし、いろいろな人たちと力を合わせながら、地域や社会で活やくする大人になってほしいと願っています。

このパスポートにみなさんの目標やそのふり返りを書きこむことで、成長の記録としていきます。

地域や学校の願いを反映させた、温かなメッセージを贈りましょう。

キャリア・パスポートに 感じたこと・学んだことなどを記録していきます！



小学校（高学年）で がんばってほしいこと

変化の激しい社会をたくましく生きていくために必要な力を整理しました。小学校生活を送る上で参考にしてください。

<ul style="list-style-type: none">○ 友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを分かろうとすること○ 自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気を付けること	<ul style="list-style-type: none">○ 委員会、係、当番活動などで、自分から仕事を見つけたり、役割分担したりしながら、力を合わせて行動すること○ 好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組むこと
<ul style="list-style-type: none">○ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりすること○ 何かをするとき、計画を立てて進めたり、途中でやり方に工夫したり、見直したりすること	<ul style="list-style-type: none">○ 自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫する

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に関わる内容で例示しています。学校の教育目標等に応じて、設定してください。

〇〇小学校の5・6年生のみなさんへ

地域や学校の実態に応じてメッセージを加えてください。各発達段階における成長について、学校が期待していることを書きましょう。

各ページの記入項目は、実態や取組に合わせて記入します。

1 ねんせい ○がっきを ふりかえりましょう

なまえ

学期ごとに振り返りをする際に使います。個人懇談で活用することもできます。

1 ○がっきのことを おもいだして かきましょう

がっこうで がんばったこと
(がくしゅう)

1年生は、文字の読み書きが定着した学期末からスタートし、振り返りからなりたい自分を思い描けるようにします。

(せいかつ)

おうちで がんばったこと (おてつだい・ならいごと)

これまでの授業のワークシートや教材、学校行事の記録などをもとに記入します。努力した過程に気づかせることが大切です。

どのくらいできたか、○をつけましょう。	よく できた	できた	もう少し
①ともだちと なかよく できましたか。			
②はじめてのことに ちゃれんじ しましたか。			
③わからないことは、しつもん できましたか。			
④すすんで べんきょうやうんどうを しましたか。			

各学校で身に付けさせたい力に合わせて項目を設定します。

年度始めに、児童と共に確認しておくことが大切です。

せんせいから

おうちのひとなどから

児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。保護者には、コメントを記入してもらうことの意義を説明します。

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを個人懇談で活用し、懇談の中でのやりとりからコメントの内容を考えてもらうことができます。

1ねんせい 1ねんかんをふりかえりましょう

なまえ

1 1ねんかんを おもいだして かきましょう。

がっこうで がんばったこと
(がくしゅう)

(せいかつ)

これまでの授業や学校行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。

おうちで がんばったこと (おてつだい・ならいごと)

- ・「できた・できていない」の0か100だけではなく、できるようになるために行動した自分にも気づかせることが何より大切です。
- ・前の学期と内容が同じになる児童もいる。頑張りを続けていることとして、肯定的に捉えましょう。

この1ねん、どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	もう少し
①ともだちとなかよくできましたか。			
②はじめてのことにチャレンジしましたか。	各学校で身に付けさせたい力が、どれだけついたかを自己評価します。		
③わからないことは、しつもんでできましたか。			
④すすんでべんきょうやうんどうをしましたか。			

2 この1ねんで、一ばん たのしかったことと、 りゆうを かきましょう。

4月からの学校生活を学級全体で振り返り、その中で楽しかったことを書かせてもよいでしょう。交流をすることで、「楽しい」と感じる理由を掘り下げることができます。

3 この1ねんで できるように なったことを たくさん かきましょう。

どんな些細なことでも、できるようになったことを書き、成長として気づかせます。生活科の学習とつなげることができます。

1ねんせいで たくさん がんばりました。

1年間で、喜怒哀楽を感じる様々な経験をしています。プラス面だけでなく、マイナス面と感じたことも、実は自分を成長させる大切な経験だと気づかせます。

4 どんな2ねんせいになりたいですか。せんげんしましょう！！

ここでは、具体的な目標でなくてよい。児童が新しい学年に向かって希望をもつことが重要です。

1年生の1年間の成長は大きいです。先生や保護者などからのコメントにも、1年間の成長に触れ、自己肯定感を高めることにつなげます

せんせいから

おひつりなどから

3年

新しい学年への前向きな気持ちで書けるよう支援します。2年生で記入したページを参考にしながら、自分の成長を感じ、さらに力を伸ばしていこうという意欲につなげます。振り返りから見通しをもつ流れを大切にします。

た

名前

各ページの記入項目は、一度に記入しても、項目ごとに分割して記入しても、どちらでも構いません。実態や取組に合わせて記入します。

(しゃしん・にがお絵)

自分のよいところ・とくいなこと

自己肯定感を高める項目。書けない児童には、担任や友達が思うよいところなどを伝えるなどの支援をします。

好きなこと・今むちゅうになっていること

好きなことや夢中になっていることが、将来の希望や夢につながります。

しょう来のゆめ

就きたい職業、「オリンピックに出たい」のような目標、「〇〇な大人になりたい」といったなりたい自分の姿など様々な夢があります。どの夢も認め、その夢に向かって、今何をがんばるか考えるきっかけにします。

〇こんな自分になりたい！！

こんな自分になりたい
(学習)

そのためにすること

(生活：そうじの時間、かかり活動など)

(家)

・1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。
・定期的に自分が決めた目標を朝の会などで振り返ります。途中で目標が変わる児童もいるので、必要に応じて、修正していきます。

みんな(学級)のためにがんばりたいこ

集団のために、自分に何ができるのかを考えることは、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成につながります。

先生から

児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。保護者には、コメントを記入してもらうことの意義を説明します。

家の人などから

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを家庭訪問等で活用し、コメントの内容を考えてもらうことができます。

3年生 Oがきをふりかえりましょう

名前

Oになりたい自分にどれだけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学習)

これまでの授業や学校行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。

(生活)

(家)

- ・「できた・できていない」のOか100だけではなく、できるようになるために行動した自分にも気づかせることが何より大切です。
- ・前の学期と内容が同じになる児童もいる。頑張りを続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。

どのくらいできたか、Oをつけましょう。		よくできた	できた	すこしできた	あまりできなかった
①自分の気持ちを、 できましたか。	各学校で身に付けさせたい力に合わせて、項目を設定します。				
②クラスや友だちの したりできましたか。	学年の始めに、児童と共有しておく必要があります。				
③しらべたいことや 進んで先生にしつも たり、本でしらべたり できましたか。					
④しょうらいのゆめや 目ひょうに向かって がんばったり、べん きょうやせいかつの し方をくふうしたり できましたか。					

一番楽しかったことやがんばったこと

先生から

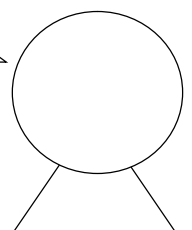
児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。保護者には、コメントを記入してもらうことの意義を説明します。

家の人などから

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを個人懇談で活用し、懇談の中でのやりとりからコメントの内容を考えてもらうことができます。

来学期の自分へのメッセージ

今学期の自分を振り返った後に、学級全体で交流するなど対話する時間を設定し、成長に対する気づきを深めます。その後、自分自身にメッセージを送ります。先生・家の人などからのコメントを読んでから記入するのもよいでしょう。



3年生 1年間をふりかえりましょう

名前

〇なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学習)

これまでの授業や行事の記録、
キャリア・パスポートなどをも
とに記入します。

(生活)

- ・「できた・できていない」の〇か１００だけではなく、できるようになるために行動した自分にも気づかせることが何より大切です。
- ・前の学期と内容が同じになる児童もいる。頑張り続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。

(家)

この一年、どのくらいできたか、〇をつけましょう。	よく できた	できた	あまり できな かった	できな かった
①自分の気持ちを、友だちにわかりやすく伝えることができましたか。				
②クラスや友だちのために、進んで行ったり、協力したりできましたか。				
③しらべたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで先生にしつもんしたり、本でしらべたりできましたか。				
④しょうらいのゆめや目ひょうに向かってがんばったり、べんきょうのやり方をくふうしたりできましたか。				

みんな（学級）のためにがんばったこと

年度初めに書いた項目を見て、振り返りをします。記入したことを学級や学年で交流することで、集団としての成長を確認することもできる。

○1年間をまとめましょう。

この一年で、一ばん楽しかったことと、その理由

4月からの学校生活を学級全体で振り返り、その中で楽しかったことを書かせてもよいでしょう。交流をすることで、「楽しい」と感じる理由を掘り下げることができます。

この一年で、できるようになったこと

どんな些細なことでも、できるようになったことを書き、成長として気づかせます。

この一年で、がんばったこと（学校で、家で、習い事で、地域で）

できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにします。

3年生での、
たくさんの経験が
4年生につながります

1年間で、喜怒哀楽を感じる様々な経験をしています。プラス面だけでなく、マイナス面と感じたことも、実は自分を成長させる大切な経験だと気づかせます。

こんな4年生になりたい！そのためにがんばること

このシートは学級活動(3)で扱います。3年生から4年生への進級は、大きく学校生活が変わる時期です。4年生の学校生活やになりたい4年生の姿についてイメージできるように支援し、になりたい自分に向かって努力します。児童が新しい学年に希望をもつことができるようにします。

先生から

先生や保護者などからのコメントにも、1年間の成長に触れ、自己肯定感を高めることにつなげます。児童がコメントを読んだときに、自分は大事にされている・期待されていることを感じ、新学年への意欲につなげたい。

5

新しい学年への前向きな気持ちで書けるよう支援します。
4年生で記入したページを参考にしながら、自分の成長を感じ、さらに力を伸ばしていこうという意欲につなげます。振り返りから見通しをもつ流れを大切にします。

名前

各ページの記入項目は、一度に記入しても、項目ごとに分割して記入しても、どちらでも構いません。実態や取組に合わせて記入します。

(写真・似顔絵)

自己肯定感を高める項目。高学年になると書きづらさが出てくるが、人と比べずに自分になりたくなることを書かせたい。これまでに書いたページを参考にしてもよい。
書けない児童には、担任や友達が思うよいところなどを伝えるなどの支援をします。

好きなこと・今夢中になっていること

好きなことや夢中になっていることが、将来の希望や夢につながります。

将来の夢や目標

就きたい職業、「オリンピックに出たい」のような目標、「〇〇な大人になりたい」といったなりたい自分の姿など様々な夢や目標があります。全てを認め、その夢に向かって、今何をがんばるか考えるきっかけにします。

○こんな自分になりたい！！

こんな自分になりたい	そのためにすること
(学習面)	<p>・1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。</p> <p>・定期的に自分が決めた目標を朝の会などで振り返ります。途中で目標が変わる児童もいるので、その都度、追加していきます。</p>
(生活面)	
(家庭・地域)	
(習い事・資格・好きなことなど)	
<p>こんな5年生にしたい、そのために自分がすること</p> <p>集団のために、自分に何ができるのかを考えることは、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成につながります。</p>	
<p>高学年としてがんばること（児童会活動・クラブ活動・学校行事・登下校など）</p> <p>5年生には学校の中でどんな役割があるのかを伝えます。</p>	

先生から

児童が記入したことに寄り添ったコメントが自己肯定感を高めることにつながります。保護者には、コメントを記入してもらうことの意義を説明します。

家の人などから

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを家庭訪問等で活用し、コメントの内容を考えてもらうことができます。

5年生 ○学期をふりかえりましょう

名前

○なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学習面)	<p>これまでの授業や行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。</p> <p>・「できた・できていない」の○か１００だけではなく、できるようになるために行動した自分にも気づかせることが何より大切です。</p> <p>・前の学期と内容が同じになる児童もいる。頑張り続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。</p>
(生活面)	
(家庭・地域)	
(習い事・資格)	

○学期、どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	すこしできた	あまりできなかった
①友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。				
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気をつけることができましたか。				
③委員会、係、わけて行動する	<p>各学校で身に付けさせたい力に見つけ、力を合わせて、項目を設定します。学年の始めに、児童と共有しておく必要があります。</p> <p>どれだけ力がついたかを自己評価します。</p>			
④好きでないことができませんでした				
⑤調べたいことや情報を集めた				
⑥何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。				
⑦自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できましたか。				

○学期、自分が成長したと感ずること

できるようになったこと・考え方や物事の捉え方など、少しでも変容があったことを書くようにします。

えいきょうを受けた出来事

実体験だけでなく、テレビや本などで得たことも含みます。

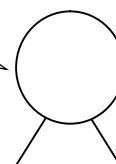
先生から

声かけ

保護者からのコメントを得ることが難しい場合、保護者以外の方からのコメントをもらうなどの配慮が必要です。また、このシートを個人懇談で活用し、懇談の中でのやりとりからコメントの内容を考えてもらうことができます。

来学期の自分へのメッセージ

今学期の自分を振り返った後に、学級全体で交流するなど対話する時間を設定し、成長に対する気づきを深めます。その後、自分自身にメッセージを送ります。先生・家の人などからのコメントを読んでから記入するのもよいでしょう。



5年生 1年間をふりかえりましょう

名前

〇なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学習面)	<div>これまでの授業や行事の記録、 キャリア・パスポートなどをも とに記入します。</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・「できた・できていない」の〇か100だけではなく、できるようになるために行動した自分にも気づかせることが何より大切です。 ・前の学期と内容が同じになる児童もいる。頑張りを続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。 </div>
(生活面)	
(家庭や地域)	
(習い事・資格・好きなことなど)	
こんな5年生になったこと	
高学年としてがんばったことや学年のためにしたこと	

この一年、どのくらいできたか、〇をつけましょう。	よく できた	できた	すこし できた	あまり できな かった
①友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。				
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気を付けることができましたか。				
③委員会、係、当番活動などで、自分から仕事を見つけ、力を合わせて行動することができましたか。				
④好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑤調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。				
⑥何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。				
⑦自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できましたか。				

○この一年を振り返って自分の成長をまとめましょう。(学習、生活、家庭、習い事など)

これまでの学習や生活のワークシートや教材、学校行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。

この一年で、自分が成長するうえで影響を受けた出来事と理由

学校行事や下学年との交流など、これまでの振り返りで記入したことを見返し、学校生活を振り返ります。実体験だけでなく、テレビや本などで得たことも含みます。

友達などから

1年間の成長を交流し、学級や学年の友達からメッセージをもらいます。習い事の先生など、児童がメッセージを欲しいと思う人を書いてもらうこともできます。

5年生での、
たくさんの経験が
6年生につながります

1年間で、喜怒哀楽を感じる様々な経験をしています。プラス面だけでなく、マイナス面と感じたことも、実は自分を成長させる大切な経験だと気づかせます。

こんな6年生・最高学年になりたい！そのためにこんなことをがんばります！

このシートは学級活動(3)で活用します児童が新しい学年に向かって希望をもつことが重要です。最高学年への進級は、小学校生活最後の年という意味合も大きいです。6年生の学校生活や行事などを調べたり6年生にインタビューしたりして、最高学年の学校生活ややりたい6年生の姿がイメージできるようにします。

先生から

先生や保護者などからのコメントにも、1年間の成長に触れ、自己肯定感を高めることにつなげます。児童がコメントを読んだときに、自分は大事にされている・期待されていることを感じ、新学年への意欲につなげたい。

〇〇（がっこうぎょうじ）がんばりカード（低・中学年）

うんどうかいのめあて

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。（自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など）



がんばることを決めよう

うんどうかいをふりかえろう

① がんばったこと、できなかったことはなんですか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにします。

② たのしかったことやうれしかったことはなんですか。

「友達のがんばっていたところ」を書くなど、相互評価をくわえてもよいでしょう。

③ これからがんばりたいことはなんですか。

5年 自然の教室（宿泊学習）がんばりカード

自然の教室の目標（学年全体の目標）

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、自然の教室の意義について、しっかりと理解できるようにして、子供たちにわかりやすい言葉でねらいを示しておきます。そして、全体目標を受けて個人の目標を立てるようにします。



自分の目標を決めよう（〇〇小学校の5年生として、〇年〇組の一員として）

集団宿泊学習においても、学校の代表であるという意識をもって活動できるようにし、社会とのつながりが意識できるようにします。具体的な実践目標を意思決定し、「目標に向かって頑張ったり、やりとげたりすること」ができるようにします。

【楽しみなこと】

【担当する係】

自然の教室での活動を振り返ろう

① 目標に対して、がんばったことや達成できたことは何ですか？

個々の成果と必要に応じて課題について考えさせ、それを整理させることで、今後、学校生活などで取り組むべき事柄がとらえられるようにします。

② どんなことが心に残りましたか。

③ 自然の教室で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。

〇〇（学校行事）がんばりカード（高学年）

修学旅行の目標（学年（学級）全体の目標）

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。（自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など）

修学旅行で大切なことは？

修学旅行の場合、一般の方と接する機会も多い
ため、修学旅行先でも学校代表としての意識を
もって過ごすなど、社会とのつながりを意識で
けるようにします。単なる「楽しい学校行事」に
ならないように、事前に意義（大切なこと）をし
っかりと理解して、目標を立てることができる
ようにします。

自分のめあて（〇〇小学校の6年生として）

修学旅行をふり返ろう

① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにします。「友達のがんばっていたこと」等の相互評価を加え、互いのよさやがんばりに気付く機会となるようにすることも考えられます。

② どんなことが

③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思いますか。

6年生 1年間をふり返りましょう

名前

各ページの記入項目は、一度に記入しても、項目ごとに分割して記入しても、どちらでも構いません。実態や取組に合わせて記入します。

○この1年間でなりたい自分にどれだけ近づけたか、ふり返り

(学習面)	<div> <p>これまでの授業や学校行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。</p> <p>・「できた・できていない」の0か100だけではなく、できるようになるために行動した自分の努力や成長に気づかせることが何より大切です。</p> <p>・前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張り続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。</p> </div>
(生活面)	
(家庭や地域)	
(習い事・資格・好きなことなど)	
<p>最高学年としてがんばったことや学年のためにしたこと、成長したと思うこと</p> <div> <p>年度初めに書いた項目を見て、振り返りをします。記入したことを学級や学年で交流することで、集団としての成長を確認することもできる。</p> </div>	
<p>18歳のわたしへのメッセージ（今の自分が、将来の自分につながっています。今の思いを大人（18才）になった自分に伝えましょう。）</p>	

この一年、どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	少しできた	あまりできなかった
①友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。				
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気を付けることができましたか。				
③委員会、クラブ活動、係活動、当番活動などで、自分から仕事や活動内容を見つけ、力を合わせて行動することができましたか。				
④好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑤調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。				
⑥何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。				
⑦自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できましたか。				

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

(1) 小学校 学級活動（特別活動）

(2) 低～高学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

(3) 題材「〇年生になって」

(4) 事前の指導

▶前学年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見返して前学年での学習や生活を振り返るとともに、理想の学級生活やなりたい自分について考える。(必要に応じて「小学生のみなさんへ」のページを読み、「キャリア・パスポート」を記入することの意義を確かめる。)

(5) 本時の学習

	児童の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○前学年の年度末に書いたキャリア・パスポートをもとに、前学年を振り返り、自分や友達の成長について話し合う。</p> <p>○これまでの自分を振り返って、なりたい自分について願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって生活することの大切さに気づく。 ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。 	<p>▶記録のみの時間とならないようにする。</p> <p>▶導入では、これまでの自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分がつながっていることを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。</p> <p>▶今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。</p>
展開 さぐる 見つける	<p>○将来の夢や〇年生としてなりたい自分、できるようになりたいことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習や伝記などを参考に、将来と今はつながっていることや思い描いている夢が叶わなくても今取り組んでいることは無駄にならないことに気づくようにする。 <p>○なりたい自分になるために、どんなことに取り組みればよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や家庭、習い事などでどんな力がつくか考える。 ・これまでの自分の経験をもとに話し合うようにする。 ・全ての経験が、自分の成長につながることに気付き、様々なことに挑戦しようという意欲をもつ。 	<p>▶互いの思いを尊重し合う雰囲気大切になる。</p> <p>▶自分の経験が、友達へのアドバイスになることを伝える。</p> <p>▶友達の経験が、全て自分にも当てはまるかは分からないことを伝えておく。その上で、自分の意思で決定することが大切であることを伝える。</p>
終末 決める	<p>○なりたい自分になるための目標やこれから取り組むことを決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定したことをめあてカードに記入する。 	<p>▶話し合ったことを生かして自分に合った具体的な実践内容や行動目標を意思決定することができるようになる。</p>

(6) 事後の指導

▶意思決定した目標や実践方法について1週間程度取り組み、ペアやグループで振り返って互いの頑張りや成果を認め合う。

▶継続した実践となったり、必要に応じて新たなめあてを立てて取り組んだりすることができるように助言する。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度末

(1) 小学校 特別活動

(2) 低～高学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

(3) 題材「1年間をふり返ろう」

(4) 事前の指導

▶キャリア・パスポート「1年間をふり返りましょう」の1年間の振り返りの部分を記入しておく。

・楽しかったことやできるようになったこと

・がんばったことや成長したこと

▶次の学年で楽しみにしていることやがんばりたいことのアンケートをとり、まとめておく。

(5) 本時の学習

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○アンケート結果から、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。 <p>○今年度記入したワークシートや教材などのポートフォリオや「キャリア・パスポート」を参考にしながら、1年間の生活や学習を振り返り、自分たちの成長を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った出来事 ・自分が成長したと感ずること ・自分と同じように、仲間も成長していることに気付く 	<p>▶学校生活が振り返れるように、写真等を掲示したり、これまで記録したポートフォリオなどを用意したりしておく。</p> <p>▶学校以外での成長についても触れる。</p> <p>▶話し合いを生かして、様々な経験により、一人一人が成長したことを実感させる。</p> <p>▶互いの成長を喜び合える雰囲気大切にす。</p>
展開 さぐる 見つける	<p>○次の学年に向けてなりたい自分を思えがく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上学年の姿を想起させ、大まかななりたいイメージをもつ。 <p>○なりたい自分に向けて、今から取り組むことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから挑戦したいことや、継続して取り組みたいこと等について話し合う。 ・実践可能な具体的な内容となるようにする。 	<p>▶上学年の姿を想起させたり、上学年からのビデオレターやメッセージを紹介したりすることで、イメージをもちやすくする。</p> <p>▶なかなか書けない児童がいたら、児童の素直な思いが引き出せるように助言する。</p>
終末 決める	<p>○話し合ったことをもとに、自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定し、「キャリア・パスポート」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なめあてや実践内容を決める。 ・次の学年への前向きな気持ちが高まるようにする。 	<p>▶次の学年へ向けて、残りの学校生活を有意義に過ごせるようにする。</p>

(6) 事後の指導

▶決めた目標について、○年生最後の日まで取組を続け、振り返りを行う。

低・中学年の場合は1週間程度など期間を決めて実践し、振り返るようにする。